

# 一 般 質 問 要 綱

平成 28 年第 5 回 9 月 定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	8	遠 藤 吉 正	1 防災施策について	(1) 災害時における市本庁舎防災機能の活用について伺う。 (2) 喜多方消防本部・喜多方消防署の防災拠点化について伺う。 (3) 災害時における広域自治体間の水平連携の考え方について伺う。 (4) 「防災基本条例」の制定について伺う。
			2 地域振興施策について	(1) ふくしまDCの3年間の成果と課題をどのように捉えているのか伺う。 (2) ふくしまDCと同時期に開催した「きたかた喜楽里博」について今後はどのように推進するのか伺う。 (3) ふくしまDCで取り組んだイベントへの今後の支援について伺う。 (4) 交流人口拡大のため、グリーン・ツーリズム事業を市として今後どのように推進していくのか伺う。
2	9	渡 部 一 樹	1 立地適正化計画について	(1) 喜多方市都市マスタープランの課題は何か伺いたい。また、都市マスタープランを見直しする考えはあるか見解を伺いたい。 (2) 立地適正化計画制度を活用したまちづくりを進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
3	2 4	佐 原 正 秀	1 災害時における的確な初動対応について	初動対応は自治体にとって極めて難しい対応であります。 大災害は突然、何の前触れもなく襲ってくる人が多い上、めったに発生しないので、経験することがほとんどできないため、初動対応は極めて重要であると同時に大変難しく、失敗はつきものと言わざるを得ない状況であり、いかに失敗を少なくするかが大きな鍵であります。 そこで本市の現状について伺います。 (1) 被害の拡大・二次災害の防止措置についてはどう取り組みますか。 (2) 被害の全体像の把握（推測・予測）についてはどう対応されますか。 (3) 資源の動員・確保と配分については常日頃よりどのようにされますか。 (4) 部門間・組織間活動の調整についてはどのように取り組みますか。 (5) 広報についてはどのような対応が重要と考えておりますか。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			<p>2 移住地域の価値の強力なアピールと実効的な政策について</p>	<p>移住者を最も熱心に求めているのは人口減少・高齢化に悩まされている過疎地域であると思われます。</p> <p>本市におきましても強力な移住政策を立案して、その地域の価値の強力なアピールを県内外に発信することが重要であります。</p> <p>「農村回帰宣言都市」を掲げ、強力なアピールのもとに移住の実績を積み重ねることが課題であります。</p> <p>そこで今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 移住地域の価値の強力なアピールと実効的な政策はどうされますか。</p> <p>(2) これまでのすばらしい実績と環境をどのように発信されますか。</p> <p>(3) 集落支援員の活用をどう進めてまいりますか。</p> <p>(4) 利便性と価値観、転勤族への注目をどのように捉えておりますか。</p>
			<p>3 人口減少社会における学校設計について</p>	<p>人口減少に伴って小・中学校のあり方が問題になってきました。</p> <p>児童生徒の少ない学校においては複式学級などの対策により、かろうじて学校運営が行われており、保護者の中にはこのままの体制に疑問を持っている方が多くおられます。</p> <p>そこで今後の統合による適正な学校配置について伺います。</p> <p>(1) 統合校を配置する方式はどのように考えられますか。</p> <p>(2) 統合前の準備として児童生徒を対象にどのような取り組みをされますか。</p> <p>(3) 統合前の準備として保護者や地域住民にはどのような取り組みを進めようと考えておりますか。</p> <p>(4) 統合した場合、新しい学校での困難はどのようなものが想定されますか。</p> <p>(5) 統合した場合、統合後の学校はどのような良さが生まれると思われませんか。</p> <p>(6) 統合した場合、どのような課題が生まれると考えますか。</p> <p>(7) 学校統合で最も重視すべきことと思われるのはどのような点ですか。</p> <p>(8) 本市の児童生徒数を増やす手段として学校統合を促進する方策についてどのように考えておりますか。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
4	10	後藤 誠司	1 待機児童の解消について	<p>本市では 2 年連続で 30 名以上の待機児童が発生しており、平成 28 年 4 月 1 日現在の待機児童は 34 名であります。</p> <p>若者の結婚、出産、子育て支援や人口減少対策の観点からも大変由々しき事態と考えます。</p> <p>そこで次年度の待機児童解消に向け、以下の点を伺います。</p> <p>(1) 直近の待機児童数は何名か伺います。</p> <p>(2) 「子ども・子育て支援事業計画」について子ども・子育て会議に諮り、内容を検討するということがあったが、結論はどうか伺います。</p> <p>(3) 第四保育所と第一保育所の廃止計画の見直しはどうか伺います。</p> <p>(4) 保育士の確保の見込みはどうか伺います。</p> <p>(5) 入所希望の偏りがあるということであるが、意向調査等を行っているのかどうか伺います。</p>
			2 リオデジャネイロパラリンピック強化合宿後の県営荻野漕艇場の整備について	<p>リオデジャネイロパラリンピックのボート競技男女混成 2 人乗りの最終合宿が 8 月 8 日から 23 日までの 16 日間、本市にある県営荻野漕艇場で実施されました。</p> <p>8 月 18 日には内堀知事が山口市長、渡部市議会議長、地元高郷町民とともに激励をいたしました。その中で知事は 4 年後の東京オリンピック・パラリンピックの時にも荻野漕艇場で強化合宿をしてほしい旨を話されました。</p> <p>そこで 4 年後の強化合宿に向けての県営荻野漕艇場の整備について伺います。</p> <p>(1) 老朽化している栈橋の改修が必要と思うがいかがか伺います。また、バリアフリー化（ユニバーサルデザイン）はいかがか伺います。</p> <p>(2) トイレや設備も改修の必要があると思うがいかがか伺います。</p> <p>(3) 宿舎の改修についてはいかがか伺います。</p> <p>(4) 漕艇場整備の年次計画はあるのかどうか伺います。</p> <p>(5) 今回強化合宿が本市で行われた際の課題は何か伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
5	16	齋藤 仁一	1 第 24 回参議院議員通常選挙について	(1) 今回の選挙から投票は 18 歳以上に引き下げられたが、市選挙管理委員会としての投票参加への具体的な取り組みについて伺いたい。 (2) 今回の喜多方市の投票結果をどのように総括しているのか伺いたい。 (3) 今回の選挙における選挙人名簿の確定はいつ行われたのか。また、名簿登載の基準は何だったのか伺いたい。 (4) 大学生など住民基本台帳に登録されながらも選挙人名簿に登載されないことにより投票できなかったなどの苦情を聞いているが、市選挙管理委員会として実態を把握しているのか。また、このようなことに対する今後の対応策について伺いたい。
			2 子ども・子育てについて	(1) 6 月議会以降の年齢別待機児童の現状と市及び認可保育所等における保育士の採用はどうか伺いたい。 (2) 子ども・子育て会議における議論はどのような内容であったのか。また、どのような方向性が出されたのか。 (3) 喜多方市子ども・子育て支援事業計画の見直しはあるのか。あるとすればどのような考え方で見直しすることになるのか具体的対応策についても伺いたい。 (4) 市としての来年度の保育士の採用は何人であるのか。また、この人数で待機児童の解消は図られるのか伺いたい。
			3 公共施設等総合管理計画について	(1) 現在までの進捗状況はどのようになっているのか伺いたい。 (2) この計画に対する市としての基本方針は何か伺いたい。 (3) 基本方針の中で、市として特に考慮すべきことは何か伺いたい。
6	25	山口 和男	1 新斎場建設について	(1) 広域組合での継続費の予算計上とその議決について、負担金を交付している本市としては適正な措置として捉えているのか考えを伺います。
7	5	江花 圭司	1 合併から 10 年とこれからのまちづくりについて	(1) 年少人口や生産人口の減少等により高齢者一人を支えるために必要な生産年齢人口を増すための施策を伺います。 (2) 5 年延長された新市建設計画や総合計画等の中で「協働のまちづくり」を掲げていますが、顕著な課題として今までの行政区単位間の様々な運営が困難になり、地域間

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>コミュニティのネットワークや多様性が乏しくなり、残された方々の行政支援の不安感と実際に支援が乏しくなった負担感は加速度的に増しています。例えば鳥獣害対策、農産物の出荷、農林地管理、空き家管理、地域の祭り、郷土の歴史資源の保全、生活支援、全般に共通する事務作業などこれらの不安により人口流出や地域崩壊の危機に陥っていますが、これらの課題を解決するにはネットワークと多様性を補完する地域間の横断的組織と行政支援の仕組みが必要と考えます。そのために必要なのは市民が主体的に関わる「住民自治」が必要と考えますが、どのような自治組織が必要と考えますか伺います。</p> <p>(3) 政府で推進されている「小さな拠点」に関して市民の自主性や主体性を育み自立した自治運営ができるようにするため、どのような取り組みを考えているか伺います。</p> <p>(4) いわき市では将来を担う中学生に夢や目標、挑戦する意欲を持ってもらうチャレンジノートを作製し活用を促しました。本市での義務教育全般に夢や志を描き書き留め言葉に出して発表させる取り組みを半成人の10歳、十三講参りの12歳、立志元服の14歳で行ってほしいと思いますが、見解を伺います。</p>
			2 新地方公会計の導入について	<p>(1) 新地方公会計については「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」において、実務的なマニュアル整備等の検討が行われ、平成29年度末までに統一的な基準により財務書類を作成するよう総務省から地方自治体に対して要請されていますが、本市の状況を伺います。</p> <p>(2) 導入前後を比較すると何がどう変わるのか。また、システム改修等の費用や労力に関して短所・長所も含めて伺います。</p> <p>(3) 予算から決算まで時系列的に変化するところはあるのか伺います。</p> <p>(4) 公共施設マネジメントや固定資産台帳整備との連携の準備状況を伺います。</p>
			3 御殿場公園整備について	<p>(1) 公園整備の進捗と当初の方針と変更後の方針を伺います。</p> <p>(2) 住民の意見を聞く場はいつ設けられるか伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 現在の維持管理の問題を把握しているか伺います。
8	1 1	菊地とも子	1 第 2 4 回参議院議員選挙について	(1) 参議院議員選挙の投票結果について
			2 高齢者支援について	(1) 高齢者一人暮らしの支援について ア 緊急通報システムの利用状況について ア) 一人暮らしの高齢者の世帯数について伺います。 イ) 過去 3 カ年(平成 2 5 年度～平成 2 7 年度)の利用実績について伺います。 ウ) システムを利用して緊急通報した件数及び救急車要請等の実績について伺います。 (2) 認知症対策について ア 認知症対策の現状について ア) 認知症相談窓口の受付実績について伺います。 イ) 地域包括支援センターでの相談受付実績について伺います。 ウ) 認知症カフェの利用状況について伺います。 エ) 認知症サポーター登録者数について伺います。 イ QRコードシステムの導入について
			3 「婚姻届」提出時に二人の記念となるサービスの実施について	(1) 「婚姻届」提出の際に記念となるサービスの実施について
9	1 9	佐藤一栄	1 旧県立喜多方病院跡地及び旧教育委員会の利活用について	(1) 旧県立喜多方病院跡地の利活用に係る進捗状況について伺う。 (2) 子育て支援施設の建設に伴う県との協議内容について伺う。 (3) 子育て支援施設の建設が具体的になるまでの利活用について伺う。 (4) 本格的に利活用できるまでの跡地の利用に対する市の考え方について伺う。 (5) 旧教育委員会の今後の利活用について伺う。 (6) 旧教育委員会敷地の借地に対する考え方について伺う。
			2 空き家対策について	(1) 空き家対策のうち利活用できる空き家の譲渡、賃貸借に係る過去 1 年間の実績について伺う。 (2) 利活用できる空き家の P R と斡旋方法について伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 空き家情報バンクに対する取り組みについて伺う。 (4) 福島県宅建協会喜多方支部との連携による取り組みについて伺う。
10	22	齋藤勘一郎	1 飯豊山の施設整備について	(1) バイオトイレの現状と対策について (2) ソーラー発電について
			2 有害鳥獣について	(1) 今年の出没、捕獲頭数について (2) 今年度の有害鳥獣捕獲目標頭数について (3) 鳥獣被害対策実施隊の出動状況について (4) 今後の対策について
11	14	坂内鉄次	1 地域振興について	(1) 市民が主体となった持続可能な地域コミュニティづくりについて
			2 道路行政について	(1) 国県道の維持管理について (2) 市内における「うつくしまの道・サポート制度」の取り組みについて (3) 日中線記念自転車歩行者道の景観に配慮する樹木管理について (4) 法定外公共用財産の利活用について
			3 国際交流について	(1) 本市における国際交流の現状と課題について (2) 本市国際交流協会の統合について (3) 中国宿遷市との交流について
12	4	関本美樹子	1 本市における「男女共同参画社会」の推進について	(1) 今までの市としての取り組み状況と成果について伺う。 (2) これまでの成果を踏まえて、平成 29 年度以降どのように具体的に推進していくのか伺う。 (3) 審議会委員の年齢制限が要綱等で定められていると思うが、20歳から65歳としている根拠は何か伺う。
			2 市民の健康と生きがいづくりについて	(1) 仕事や家庭また子育てに忙しく自らの体調の変化に気づきにくい 20代から30代にかけての女性に対する健康指導について伺う。 (2) 本市の男性の平均寿命県下ワースト 2 からの脱却のための施策とその進捗状況を伺う。 (3) 本市において高齢者も生きがいを持って体も心も健康で楽しく寿命を伸ばしていける施策を伺う。
13	12	小林時夫	1 職員の意識改革と人材育成の推進について	(1) 人事評価制度について ア 人事評価制度の現状について イ 今後のスケジュールについて ウ 人事評価制度の活用について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(2) 職員提案制度について ア 職員提案制度の現状について イ 今後の職員提案制度について
			2 本市の LED 化の推進について	(1) 公共施設の LED 化について ア 公共施設における LED 化の現状について イ 公共施設における今後の LED 化について (2) 行政区等の LED 化について ア 行政区等における LED 化の現状について イ 行政区等における今後の LED 化について
			3 要援護者登録制度について	(1) 要援護者登録制度の現状について (2) 今後の要援護者登録制度について (3) 緊急連絡カードとの整合性について (4) 救急キットの検討結果について
14	15	長澤勝幸	1 スポーツ交流都市のデザインについて	(1) 総合型地域スポーツクラブについて (2) スポーツ振興の環境整備について (3) スポーツと健康長寿の取り組みについて
			2 災害情報の充実について	(1) ハザードマップの作成について (2) 国土交通省ハザードマップポータルサイトについて
15	20	五十嵐吉也	1 本市の活性化対策について	(1) 昨年度の取り組みと成果について伺います。 (2) 今後の雇用創出策は何か。また、その策による成果の見込み数を伺います。
			2 平成 28 年度一般会計予算について	(1) 本年度の普通建設事業費の占める予算割合について伺います。 (2) 財産等の処分及び有効活用について伺います。 (3) 予算における繰入金（各種基金）の運用について伺います。 (4) 電子計算機管理経費について伺います。
16	7	上野利一郎	1 三ノ倉高原花畑事業について	5年目を迎えたこの事業も全体の作付面積を 7.0ha 以上に増やした年から入込数が 6 万人を超え右肩上がりになっている。 これを受けて以下の項目について伺います。 (1) これまでの年間総事業費の推移とその経済効果の推移はどのように考察されているのか伺います。 (2) 毎年同じ区域に種植することによる地力の低下の状況と地力回復の必要性について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(3) 繁忙期のシャトルバス運行経費と第一リフトの夏山仕様への改修費及び管理運営費について積算及び比較をした実績はあるのか伺います。</p> <p>(4) 花畑の観賞協力金の徴収に関して市の考え方を伺います。</p> <p>(5) ふるさと振興株式会社の施設の営業形態に市当局が協議できる可能性について伺います。</p>
			2 ドローンの庁内での活用について	<p>中型ドローン市場の成熟に伴い 4K カメラ搭載による HD 静止画の取得、飛行時間 20 分以上の延長、障害物自動停止機能など特に長時間の練習を伴わずとも飛行撮影できる環境が整ってきた。</p> <p>一部の都市部では飛行についての厳しい法整備が進んではいるものの、地方においては条件が緩い。</p> <p>そのため民間はもとより公共機関でも撮影できる人材を増やし、様々な事業で活用されている。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 災害活動への応用は研究するとのことであったが、広報記録撮影事業等での即戦力としての導入について伺います。</p>
17	3	小島 雄一	1 本市総合計画について	<p>現在策定中の新総合計画の基本的方針について伺います。</p> <p>人口ビジョンでは 10 年後の本市の人口は 42,000 人となり、15% の減少であり縮小する社会が大前提であります。特に市周辺部の減少は深刻であります。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 現在の進捗状況を伺います。</p> <p>(2) ワークショップの成果を伺います。</p> <p>(3) 小規模多機能自治制度が有効であると思われるが、取り入れる考えはあるか伺います。</p> <p>(4) 子育て世代の I ターン・U ターンのための政策をどのようにするのか伺います。</p>
			2 本市の新農林業ビジョンについて	<p>新総合計画とともに農林業ビジョンも策定の時期になっていると思います。次の質問をいたします。</p> <p>(1) 策定のスケジュールを伺います。</p> <p>(2) 今までの計画に基づく重点政策の結果と反省を伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 販路開拓のためのトップセールスは評価するところであるが、実績と方向性を伺います。 (4) 生ゴミや堆肥の活用の考えを伺います。
18	2	矢吹哲哉	1 市の文化財保護のあり方について	(1) 文化財は市民の宝であり、歴史的遺産として次世代に保存・継承を図っていくことが原則と考えるが、市長の基本的な見解は。 (2) 災害等で文化財の保存が困難になっている慶徳町山崎地区の横穴古墳の保存はどのようにしていくのか。 ア 基本的な方針は。 イ 具体的に今後どのように進めていくのか。 ウ 保存の決定について市民・住民の意見はどのように反映していくのか。例えば保存の決定の前に市民説明会を開催し、意見を聞いていくことは考えているのか。
			2 市の地域創生・総合戦略の推進について	(1) 第3次定員適正化計画（平成28・29年度計画）と来年度の正保育士の採用において待機児童ゼロ対策はどのように検討されたのか。 ア なぜ正保育士の採用が4名程度なのか。 イ 公立保育所（第四・第一保育所）の廃止予定についてはどうするのか。 ウ 平成29年4月の待機児童ゼロに向けて市としてはどうしていくのか。 (2) 子どもの人口減の大きい高郷、山都、熱塩加納地区に子育て世帯向け定住促進住宅の建設をとの要望があるが、市長はどのように受け止めているか。また、具体的に検討をしていくのか。 (3) TPPの推進は日本の農業と農村の崩壊につながると考える。TPPの国会承認反対の声が北海道、東北を中心に農村地域で強い。市長はTPP承認反対の意見を国会と与党に要請すべきと考えるが、市長の考えは。
19	6	渡部信夫	1 産地パワーアップ事業と来年度の農業政策について	(1) 産地パワーアップ事業について ア これまでの取り組み状況について ア 意向調査及びヒアリングについて伺います。 イ 申請状況について伺います。 ウ 今年度の事業の総括を伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				イ 今後の取り組みについて (ア) 予算の執行状況及び今後の予算計上について伺います。 (イ) 今後の事業申請について伺います。 (2) 来年度の農業政策について ア 基本的な考えを伺います。 イ 経営支援に向けた新たな組織と業務内容を伺います。 ウ 産地パワーアップ事業等に市が主体的に取り組むことについて伺います。
			2 鳥獣被害対策について	(1) 鳥獣被害対策実施隊について ア 有害鳥獣の捕獲駆除実績及び出動状況について伺います。 イ 捕獲駆除報償費について伺います。 (2) 支援体制の拡充について ア 鳥獣被害対策実施隊の組織拡充及び待遇改善について伺います。 イ 捕獲駆除後の処分における対策拡充について伺います。
			3 住民自治について	(1) 自治基本条例について伺います。 (2) 住民自治の進め方について ア 地区公民館をコミュニティセンターとして住民自治の拠点にすることについて伺います。 イ 地域自主組織の編成について伺います。 ウ 地区ごとに自由に使える予算措置と事業計画策定支援について伺います。